地域連携推進会議に係る Q&A（高崎市）

Q1 地域連携会議の手引きには「地域連携推進会議の開催日以外の任意の日程を選択し、施設等と調整を行い、訪問する日を決めることとなります。」とあるが、会議開催日と同一日に施設等への訪問を行ってよいか。

A 見学する必要のある施設が会議開催場所のみである場合や、会議構成員の日程調整が難しい場合など同日に行った方が効率的な場合は、同日に行うことも可能としますが、以下の点にご留意ください。

- ・複数人で施設を見学する場合は施設の利用者や職員の負担になることがございますので、配慮してください。
- ・複数の住居を設置している場合は、その住居ごとに年1回以上、会議構成員が見学する機会を設ける必要があります。

Q2 基準において、利用者及びその家族、地域住民の代表者、福祉や経営について知見を有する者並びに市町村の担当者等により構成される協議会とあるが、例示のある構成員の中で必須となっている構成員はいるか。

A 利用者、利用者家族、地域住民の代表者は必須となっております。

Q3 地域住民の代表者はどのような人が想定されるか。

A 地域との結びつきを目的の一つとしているため、自治会・町内会などの地域団体の方、民生委員、商店街の方、学校関係者、地域で活動しているNPO法人、地域の障害当事者、施設の近隣の住民といった幅広い属性の方が想定されています。